



248

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年2月2日号

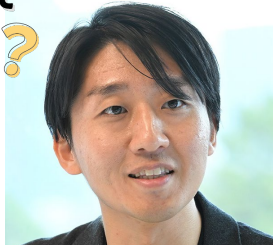
編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

池上彰の

聞いて
いい
ですか？

「体験格差」解消を訴える今井悠介さん

2日(日)=1、3面



はぜいたくではないか、もっと貧しい人もいる、といった世間の反応が多く、これまでなかなか理解が進みませんでした。

なぜ体験が必要かといえば、それは自己肯定感や学力では計れない「非認知能力」といったいわば、生きていく力を養うためだといいます。今回、ジャーナリストの池上彰さんと対談したのは、「チャンス・フォー・チルドレン」代表理事を務める今井悠介さん＝写真＝です。昨年、「体験格差」という著書を出版し話題になりました。今井さんが体

験格差解消を進める原体験は1995年の阪神大震災でした。大学時代には不登校児童への学習指導などのボランティアに携わります。その後就職しましたが、東日本大震災を機に退職し、現在の団体を設立します。今井さんは寄付金を募って子どもたちに体験の場を提供する事業を進めてきましたが、「習い事でなく学習支援に使ってほしい」などの意見がありました。しかし「あること」がきっかけで、体験の重要性に理解を示してくれる人が増えてきた、といいます。一体何だったのでしょうか。

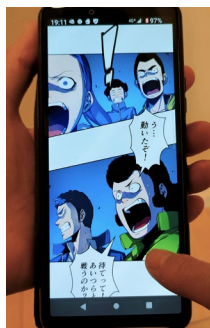
そこ
が聞きたい

縦読み電子コミック制作会社代表 李沄錫さん

2日(日)=くらしナビ面

スマートフォンで縦にスクロールしながら読み進む「縦読み漫画（ウェブトゥーン）」＝写真＝が急成長しています。読者数は世界で1億人とも言われ、国内の大手出版社の参入も相次いでいます。

ウェブトゥーン発祥の地は韓国。なぜ人気が広がったのか。コミック大国・日本にも根付くのか。両国の漫画事情に詳しい制作会社「レッドセブン」の李沄錫（イ・ヒョンソク）代表に聞きました。



明治大学大学院特任教授の氷川竜介さん＝本人提供

論点

「エヴァ」放送開始から30年

5日(水)オピニオン面

アニメ「新世紀エヴァンゲリオン」のテレビ放送が始まって2025年で30年となります。作品は社会現象ともいわれるブームを巻き起こし、後に公開された映画も次々

にヒットしました。今もなお世代や国境を超えてファンを獲得し続けるエヴァの魅力はどこにあるのでしょうか。意義や読み解き方を専門家やファンに聞きました。

特集 71D 医療的ケア児と家族のしんどさを考える

3日(月)=夕刊2面



日本ケアラー連盟代表理事の馬場真知さん＝本人提供

医療的な支えを日ごろから必要とする「医療的ケア児」が命を落とし、親が逮捕される事件が続いています。昨年11月には、たん吸引が必要な次女を置き去りにして窒息死させたとして、

母親が保護責任者遺棄致死容疑で逮捕されました。医療的ケア児や家族はどんな状況に置かれ、どうすればそのしんどさを和らげられるのか。あれこれと考えるみます。

竹橋の窓辺から

編集後記

第79回毎日映画コンクールは、障害を抱える二人が支え合い前向きに生きる姿を描いた三宅唱監督の「夜明けのすべて」が大賞、監督賞、ファン賞の3冠に輝きました。俳優部門では河合優実さん、横浜流星さん、池松壮亮さん、カルメル紀さん、越山敬達さんが受賞しました。2月の13日の贈呈式に抽選で50組100名様をご招待します。2月3日24時まで、QRコードからお申し込みください。（堀之内浩嗣）

毎日新聞